

## 平成25年度ごみ処理の流れと処理量

<b>搬入総量</b>	<b>49,951.7t</b>
<b>可燃物搬入量合計</b>	<b>46,474.3t</b>
委託収集	27,126.4t
可燃(燃やせる)ごみ	24,763.2t
可燃粗大	193.9t
ペットボトル	286.7t
プラスチック製容器包装	836.2t
紙類	971.4t
衣類・布類	75.0t
許可収集	17,007.0t
燃やせるごみ	16,974.7t
可燃粗大	32.3t
自己搬入	2,335.3t
燃やせるごみ	1,078.6t
可燃粗大	1,256.7t
違反ごみ	5.6t
燃やせるごみ	5.0t
可燃粗大	0.6t
あわせ産廃	0.0t
燃やせるごみ	0.0t
可燃粗大	0.0t

<b>溶融処理</b>	<b>47,020.3t</b>
成田富里いずみ清掃工場	

溶融処理及び処理生成物の按分 総量×搬入割合 (成田75.70%、富里24.3%)
処理量: 62,113.97t
飛灰: 1,551.67t
スラグ: 3,901.39t
メタル: 97.45t

<b>溶融飛灰</b>	<b>1,174.6t</b>
最終処分(県外民間事業所で処理)	836.9t
最終処分(県外民間事業所で処理)	337.7t
<b>溶融スラグ</b>	<b>2,952.3t</b>
溶融固化(県外民間事業所で処理)	764.1t
最終処分(県内民間事業所で処理)	1,515.6t
最終処分(県外民間事業所で処理)	672.6t
<b>溶融メタル</b>	<b>73.8t</b>
売却し資源化(県内民間事業者へ売却)	44.6t
売却し資源化(県外民間事業者へ売却)	29.2t

<b>ペットボトル</b>	<b>356.1t</b>
(リサイクルプラザほか県内民間事業所で処理)	
※集団回収・店頭回収分を含む	
<b>プラスチック製容器</b>	<b>829.2t</b>
(県内民間事業所で処理)	

<b>指定法人ルート</b>	
ペットボトル(県内事業者で処理)	125.3t
ペットボトル(県内事業者で処理)	83.1t
ペットボトル(県外事業者で処理)	97.6t
プラスチック製容器包装(県内事業者で処理)	612.7t

※禁忌品は、清掃工場溶融処理を含む

<b>紙類(分別収集)</b>	<b>971.4t</b>
<b>衣類・布類(分別収集)</b>	<b>75.1t</b>

<b>売却し資源化</b>	<b>1,045.4t</b>
(市内事業者2社へ売却)	

※禁忌品は、清掃工場溶融処理を含む

<b>不燃物搬入量合計</b>	<b>3,477.4t</b>
委託収集	2,557.2t
ビン・カン	1,509.3t
金物・陶磁器・ガラス/粗大ごみ	1,047.9t
有害ごみ	0.0t
許可収集	251.5t
ビン・カン	191.4t
金物・陶磁器・ガラス類/粗大ごみ	60.1t
自己搬入	663.1t
ビン・カン	0.1t
金物・陶磁器・ガラス類/粗大ごみ	2.7t
資源物	660.3t
違反ごみ	5.6t
ビン・カン	0.0t
金物・陶磁器・ガラス類/粗大ごみ	0.0t
資源物	5.6t

<b>リサイクルプラザ</b>	<b>(選別・破碎)</b>
-----------------	----------------

※収集量、中間処理量及び最終処分量の集計量に差が生じているが、これはピット内等残量、水分、計量等の差異による。

スチール缶プレス	233.1t	資源化(売却)	2,086.3t
アルミ缶プレス	255.8t		
生きビン	10.1t	清掃工場溶融処理	
カレット	856.5t		
鉄くず	552.0t	県外民間事業者で再資源化	
その他の資源	88.8t		
紙類、衣類・布類	90.0t	清掃工場溶融処理	
水分・その他			
廃乾電池・廃蛍光灯	60.5t	清掃工場溶融処理	
可燃残さ(焼却)	521.1t		
不燃残さ	630.1t		

①集団回収(団体)	2,240.4t
②店頭回収(ペットボトル)	25.6t
③拠点回収(天ぷら油)	3.9t
	(4,000ℓ)
①+②+③	2,269.9t

①集団回収(市全域)	
新聞紙	1,123.4t
段ボール	389.1t
雑誌	401.5t
繊維類	65.2t
スチール缶	41.9t
アルミ缶	24.9t

①集団回収(市全域)	
金属類	2.8t
生きビン	23.1t
カレット	106.9t
ペットボトル	61.8t
②店頭回収	
ペットボトル	25.6t